

平成29年度 事業報告書承認の件

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

I. 事業の実施項目と内容

平成29年度は、公益目的事業としての「普及啓発事業」と全改協の固有の事業を行った。

1. 普及啓発事業

(1) 体験事業（牛乳屋さんのお仕事体験）

①実施目的：小学校では給食があり牛乳を飲む習慣があるが、中学校では給食を実施している学校が減ることから、育ちざかりの中学生が牛乳を飲む機会は小学生に比べると減少する。

中学校の授業に「職業体験」があるが、中学生を受け入れる職場が少ない状況にある。そこで全国の全改協の加盟店が受け入れ先となって中学生に実際の業務を体験してもらう。体験を通して働くことの意義や基本を学んでもらうとともに、牛乳乳製品が成長期の身体に有用な食品であることの理解を深め、中学生が牛乳を飲む機会を増やすことを促し、中学生の食生活の改善、健康増進並びに体躯向上に寄与する。

②実施方法：実施する加盟店及び流改協が職場体験の計画書を学校や教育委員会に提出した他に文部科学省の職業体験マッチングサイト「子どもと社会の架け橋となるポータルサイト」にも掲載した。

また、幼稚園や保育所及び小学校に対しても「職場訪問」や「社会科見学」等の場として提供し、牛乳についての理解の促進を図った。

③実施時期：平成29年5月～平成30年2月

④実施実績：今年度は6店の加盟店にて実施され、42名の小中学生が牛乳販売店の業務を見学・体験した。

宮城県	株小岩井ミルヒ	7名（中学生）
秋田県	（有）伊藤食品販売	2名（中学生）
東京都	コーチン牛乳赤塚販売店	20名（小学生）
岐阜県	東海乳業株	2名（中学生）
愛知県	（有）西浦乳販	9名（小学生）
岡山県	株オハヨーミルクネット	2名（中学生）

(2) 啓発事業（牛乳・乳製品の利用促進）

①実施目的：牛乳はバランス良く栄養が摂れ、他の食品に比べてカルシウムが豊富でしかも吸収が良いことから健康には有益な食品である。特に、妊娠中や授乳期の女性は、栄養の補給がいつも以上に必要となる時期である。また、少子化、初産の高齢化という社会状況もあることから、全改協として妊産婦や授乳期の女性に対し、牛乳の飲用を促す啓発活動を行い、妊産婦の栄養補給と胎児の発育促進及び母子の健康増進に寄与する。

②対象者・対象商品

今年度は、妊娠婦の他に同じくカルシウム等が必要と思われる小学生及び高齢者世帯も対象とした。

また、商品も、牛乳の他に乳飲料と発酵乳も対象とした。

③実施方法：加盟店がターゲットとなる世帯を直接開拓し契約を結び、飲用を促すため3ヶ月間牛乳代の半額相当分を助成することを基本とし、流改協において実施しやすい内容にアレンジして取り組んだ。

④実施時期：平成29年7月～平成29年11月の5ヶ月間に契約が成立したお客様。

⑤実施実績：今年度は、過去の取り組み状況から判断し、事前に流改協に予算を提示し、3ヶ月間牛乳代の半額相当分を助成することを基本としながら流改協にて取り組み易い方法にアレンジして取り組んだ。

その結果、29流改協にて昨年の2倍となる2,848名に対して助成を行った。

流改協	助成数	流改協	助成数	流改協	助成数
北海道	303	東京	170	京都	40
青森	370	神奈川	162	大阪	29
岩手	318	山梨	26	兵庫	43
宮城	19	長野	131	奈良	21
秋田	60	新潟	76	和歌山	54
福島	40	富山	29	広島	81
栃木	48	岐阜	62	佐賀	16
群馬	チラシ配付のみを行った	愛知	116	長崎	45
埼玉	260	三重	60	熊本	19
千葉	14	滋賀	185	宮崎	51
				合計	2,848

(3) 広報物配布事業（ミルクカレンダー）

①事業目的：牛乳は各種栄養素がバランス良く含まれ手軽に利用できる食品である。

牛乳の利用を更に拡大するためには「飲む」だけではなく「料理」に活用することが有効である。

牛乳に含まれる栄養素とその効用、調理する基本及び一年12ヶ月の牛乳を利用した料理レシピ、牛乳乳製品の情報並びに宅配牛乳の利便性等を掲載したミルクカレンダーを作成し、消費者に無料配布する。「料理する」ことで、食生活の改善や健康増進に繋がることを目的とする。

②実施方法：制作及び制作費は一般社団法人Jミルクが負担し、取りまとめは全改協が担当した。

内容は、昨年に継いで牛乳を使った減塩メニュー「乳和食」とし、「乳和食」を提唱した小山浩子先生の料理レシピを掲載した。

都道府県流改協の加盟店を経由して一般消費者に配付するうちの75万部を無償配布した。

③実施時期：平成29年5月～12月

④実施実績

都道府県	無償配布部数	都道府県	無償配布部数
北海道	23,600	静岡	8,400
青森	10,000	滋賀	12,200
岩手	12,400	京都	22,600
宮城	15,200	大阪	37,200
秋田	12,800	兵庫	24,200
山形	9,000	奈良	7,800
福島	19,200	和歌山	21,600
茨城	24,800	岡山	16,600
栃木	12,000	広島	20,800
群馬	13,800	山口	11,200
埼玉	29,600	徳島	20,800
千葉	34,000	香川	22,600
東京	43,400	愛媛	3,000
神奈川	32,000	福岡	23,600
山梨	17,800	佐賀	9,600
長野	21,800	長崎	1,800
新潟	14,800	熊本	15,600
富山	3,600	大分	15,000
石川	15,800	宮崎	12,000
福井	8,800	鹿児島	26,000
岐阜	11,600	全改協	200
愛知	19,400	総合計	750,000
三重	11,800	前年比	100.0%

※ 平成27年度調査の加盟店数を参考に配付した。

(4) 事例集発行事業（牛乳販売店優良事例）

①実施目的：牛乳販売店は、単に牛乳の配達だけではなく、地域の安全パトロール、独居老人の見守り、高齢者世帯の買い物等の支援などを行っている。現在、消費者の牛乳購入の主力はスーパー等に移行しており、牛乳販売店からの購入は減少しているが、牛乳販売店は地域社会にとって不可欠な存在である。地域社会に貢献しながら飲用牛乳を広く普及させている加盟店の事例を広く全国から募集し、中央にて発表し、表彰する。それらの内容を「優良事例集」としてまとめ、全国の加盟店に配布し、飲用牛乳の普及に活用する。牛乳の普及拡大を通して、国民の食生活の改善、体躯の向上並びに健康増進等に寄与する。

②実施方法：会員である都道府県流改協から、少子高齢社会の中で「お客様」や「地域社会」に貢献し、飲用牛乳を広く普及させている加盟店の事例を募った。全改協では、全ての応募について審査委員会に諮り、審査基準に則り発表店を決定した。発表会では審査基準に則り表彰店を選定し、表彰する。

③実施時期：平成29年7月～平成30年3月

④実施実績：今年度も都道府県流改協から直接応募する方法にて実施した。

都道府県流改協の審査を経て、11店が流改協代表として推薦された。

第一次審査会（10/6）では厳正な審査を行ない、発表候補店として8店を選出した。その発表候補店8店に対して経営専門家審査委員が訪問し、経営内容、販売活動内容等を調査した。その調査結果を元に第二次審査会（12/8）を開き、あらためて審査採点を行なった結果、8店全てを発表店とした。

発表会時（2/2）に中央審査会を開き、第二次審査会での採点と発表内容を併せて審査し、最優秀店、優秀店を決定し、表彰した。

発表店の店舗概要や活動内容をまとめた「優良事例集（第30集）」は4,800部印刷し、都道府県流改協を経由して加盟店や関係団体に配布した。

同時に、広く一般からも閲覧できるようにホームページにも掲載した。

⑤表彰店

最優秀賞（農林水産大臣賞）

山梨県代表 株式会社サンミルク諏訪

代表 諏訪 修啓氏

優秀賞（農林水産省生産局長賞）

神奈川県代表 タカナシ東開成直売店

代表 嘉山 由之氏

優秀賞（一般社団法人 Jミルク会長賞）

宮崎県代表 森永牛乳ミルクハウス都城

代表 内村 孝志氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会长賞）

北海道代表 池田牛乳店

代表 八木 和博氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会长賞）

茨城県代表 森永牛乳金沢町販売店

代表 佐藤 猛氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会长賞）

群馬県代表 株式会社ヘルシーミルク

代表 富澤 雄二氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会长賞）

長野県代表 メイトー牛乳宮崎販売店

代表 宮崎 義明氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会长賞）

大分県代表 有限会社大分みどり販売

代表 阿南 英敏氏

⑥第一次・第二次審査委員

佐藤 卓（中小企業診断士）

小畠 秀之（中小企業診断士）

窪田 靖生（中小企業診断士）

橋本 正敏（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会长）

北川 忠男（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会长）

荻原 泉（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会长）

中西 圭彦（一般社団法人全国牛乳流通改善協会専務理事）

⑦中央審査委員

百木 薫（一般社団法人 J ミルク事務局長）
織田 哲雄（公益財団法人 食品流通構造改善促進機構 専務理事）
新井 憲一（全国牛乳商業組合連合会会長）
佐藤 卓（中小企業診断士）
橋本 正敏（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長）
北川 忠男（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会長）
荻原 泉（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会長）
中西 圓彦（一般社団法人全国牛乳流通改善協会専務理事）

⑧「優良事例集」の配布数

流改協	配布数	流改協	配布数	流改協	配布数
北海道	155	長野	126	岡山	87
青森	42	新潟	95	広島	130
岩手	72	富山	21	山口	48
宮城	97	石川	105	徳島	150
秋田	61	福井	61	香川	173
山形	64	岐阜	80	福岡	170
福島	95	愛知	120	佐賀	61
茨城	170	三重	40	長崎	15
栃木	73	静岡	60	熊本	102
群馬	82	滋賀	83	大分	85
埼玉	204	京都	138	宮崎	100
千葉	194	大阪	250	鹿児島	178
東京	278	兵庫	159		
神奈川	130	奈良	51	全改協	152
山梨	113	和歌山	130	合計	4,800

※ 流改協からの希望数にて配付した。

2. 全改協の固有事業

(1) 事業会議（地区別代表者会議）

流改協会長と事務局員が一緒に出席する「地区別代表者会議」を、総会後に全国5地区で開催した。

会議では、平成29年度全改協の事業内容等の説明を詳細に行なった。同時に、一昨年に実施した流改協へのアンケートの回答状況を報告し、更に意見を聞いた。

全改協からは、会長、副会長、専務理事、常務理事及び事務局が出席、都道府県流改協は39流改協から会長、事務局長等80名の出席があり、活発な意見交換が行なわれた。

「地区別代表者会議」の開催日と開催地は次の通り

- ・ 6月2日（金） 東京（乳業会館）
- ・ 6月3日（土） 福岡（TKPガーデンシティ博多）
- ・ 6月9日（金） 大阪（ホテル新大阪）
- ・ 6月10日（土） 名古屋（TKPガーデンシティ名古屋新幹線口）

・ 6月17日（土） 函館（スマイルホテル函館）

(2) 食品流通構造改善緊急対策事業

加盟店の設備・機器導入費用の軽減を図るため、公益財団法人食品流通構造改善促進機構の「食品流通構造改善緊急対策事業」を活用した。

今年度は京都府と新潟県の加盟店2店から冷蔵庫と宅配システムの申込みがあった。

3. 広報関連事業等

(1) 機関紙「全改協だより」

全改協の活動内容や事業活動を加盟店に周知し、牛乳販売店の経営に関する酪農乳業の各種情報、牛乳に関する各種情報、販売店経営の活性化、近代化を図るために資料や情報並びに全改協事業の進捗状況や会議内容について掲載した。

今年度は3回の発行となり、都道府県流改協を通じて全国の加盟店に配布するとともにホームページにも掲載した。

第82号（7/14） … 第40回通常総会の内容、平成29年度事業の概要、牛乳の日記念フォーラムの報告、軽減税率導入への対応

第83号（11/15） … 平成29年度事業の報告、合理化会議の報告、都道府県流改協会長名および事務局連絡先

第84号（1/1） … 新年ご挨拶、全改協事業の中間報告、第5回牛乳ヒーロー＆ヒロインコンクール表彰式、雇用関係の助成金

(2) インターネットを使った広報活動

情報の周知並びに提供の迅速化、宅配（牛乳・販売店）の啓蒙活動を図るために、ホームページを使い、関連情報をタイムリーに掲載し、必要な部分の更新を都度行った。

ホームページでは事業の計画、報告書のフォーマットを掲載し、流改協にてダウンロードして利用できるようにした。更に広く情報を発信・拡散させるために、ツイッターとフェイスブックでの情報提供を実施した。

(3) 関係団体への協力

酪農乳業界の発展のために、関係団体とは常時密接に連携をとり、情報交換、協議、検討を行った。特に、一般社団法人Jミルクの正会員として理事会、マーケティング専門部会及びマーケティング委員会に出席した。

牛乳の日・牛乳月間の告知活動については、生処販の一翼を担う団体として、ミルクカレンダーにおいて6月のカレンダーに告知し、広く消費者に知つもらうように努めた。

また、公益財団法人食品流通構造改善促進機構の理事の一員として理事会に出席し、他業界団体との交流のきっかけを掴んだ。

4. その他

(1) 合理化会議の実施

「地区別代表者会議」終了後、会議で出た意見等を検討する「合理化会議」を3回開催し、平成30年度以降の対応を協議した。各回の終了後には流改協に議事録をフィードバックし、流改協から意見をいただいた。

会議の開催日と検討内容は次の通り。(開催場所はいずれも全改協事務所)

- ・第1回 7月7日(金) 組織改革、事業の再検討、会費の見直し
- ・第2回 8月9日(水) 第1回会議の確認、会費の見直し
- ・第3回 10月6日(金) 第1回、第2回会議の確認、流改協からの意見の検討

メンバー(7名)：橋本会長、北川副会長、荻原副会長、中西専務、伊藤常務、白羽常務、佐藤監事

合理化会議にて方向付けされた内容は理事会に上程し、更に検討を重ねた。

(2) メーカー及び関連団体懇談会の開催

日頃、協力をいただいているメーカーと関連団体に対して、合理化会議と理事会で検討した平成30年度以降の対応を説明し、更なる協力をお願いした。

開催日・場所：平成29年12月13日(水)、アルカディア市ヶ谷

参加メーカー・関連団体

- ・森永乳業(長谷川部長、村上課長)
- ・雪印メグミルク(太田副部長、山田課長)
- ・協同乳業(由良部長、柴富支店長)
- ・全乳連(新井会長)
- ・Jミルク(前田専務、関課長)
- ・食流機構(前田部長)
- ・全改協(橋本会長、荻原副会長、中西専務)

(3) 臨時総会の開催

合理化会議と理事会で検討した内容を反映させた平成30年度の事業計画と収支予算及び会費の見直しの承認を得るために臨時総会を開催した。

開催日・場所：平成30年3月16日(金)、アルカディア市ヶ谷

出席会員：39名(本人出席28名、有効委任状6名、権利行使届出5名)

議案：第1号議案 平成30年度 事業計画及び収支予算承認の件

第2号議案 会費の見直し承認の件

多くの意見が出たが、第1号議案、第2号議案ともに承認された。

(4) ミルクカレンダー制作ワーキンググループの開催

ミルクカレンダーが平成30年度制作の2019年版からJミルクとの共同制作ではなく、全改協単独制作となるため、「牛乳販売店のミルクカレンダー」という特色を強く出すことが可能になる。

この特色をどの様に出したらよいかを、カレンダーを活用している加盟店を加えたワーキンググループ（WG）を3回開催し、検討を行った。

開催日・場所は次の通り

- ・第1回 9月22日（金）、全改協事務所
- ・第2回 10月10日（火）、同上
- ・第3回 11月14日（火）、同上

メンバー

- ・リーダー：白羽常務
- ・委 員：中島理事、大道武牛乳店（森永）、（株）きたがわ（雪メグ）、平岡牛乳店（協乳）
- ・オブザーバー：橋本会長

なお、第2回、第3回にはミルクカレンダー制作会社の(株)zazaも検討に加わった。

以上

平成29年度 主な会務・事業等の概要

【全改協】

29年	4月21日	監事監査開催
	4月25日	第1回理事会開催
	5月23日	第1回常任理事会開催
		第40回通常総会開催
	6月 2日	地区別代表者会議開催 (東京)
	6月 3日	" (福岡)
	6月 9日	" (大阪)
	6月10日	" (名古屋)
	6月17日	" (函館)
	7月 7日	第1回合理化会議開催
	8月 9日	第2回合理化会議開催
		第2回理事会開催
	9月22日	第1回ミルクカレンダー制作ワーキンググループ (WG) 会議開催
	10月 6日	第3回合理化会議開催
	10日	第30回牛乳販売店優良事例 第一次審査会開催
	11月14日	第2回ミルクカレンダー制作WG会議開催
	18日	第3回ミルクカレンダー制作WG会議開催
	12月 8日	第3回理事会開催
	13日	第30回牛乳販売店優良事例 第二次審査会開催
30年	1月18日	メーカー及び関連団体懇談会開催
	2月 1日	第4回理事会開催
	2日	第5回理事会開催
	3月16日	第30回牛乳販売店優良事例 発表会開催
		第2回常任理事会開催
		第1回臨時総会開催

【Jミルク】

29年	5月17日	監事監査に担当役員出席
	5月30日	第1回理事会に担当役員出席
	6月16日	通常総会に担当役員出席
	9月15日	第2回理事会に担当役員出席
	9月27日	第1回マーケティング専門部会に担当役員出席
	10月28日	第3回理事会に担当役員出席
30年	1月19日	第5回牛乳ヒーロー＆ヒロインコンクール表彰式に担当役員出席
	2月16日	第4回理事会に担当役員出席
	3月 2日	第5回理事会に担当役員出席
		第1回臨時総会に担当役員出席

【食品流通構造改善促進機構】

29年	6月 5日	第1回理事会に担当役員出席
	8月21日	第27回優良経営食料品小売店等表彰事業に応募
30年	1月29日	第27回優良経営食料品小売店等表彰事業表彰式に出席
	3月 5日	第2回理事会に担当役員出席

以上